

横浜市障害児施設等従事者向け 虐待防止研修



管理者・児童発達支援管理責任者等向け 共通研修

9/29 (火) 9:30～16:30

- ・ 障害者虐待防止法の理解
- ・ 虐待防止のための取り組みを学ぶ
- ・ 虐待の早期発見、発生時の対応

受講
無料

管理者
児発管等
対象

管理者向け研修

10/6 (火) 9:30～16:30

- ・ 管理者としての役割
- ・ 職場風土の改善①
- ・ 職場風土の改善②

児童発達支援管理責任者等向け研修

11/2 (月) 9:30～16:30

- ・ 児童発達支援管理責任者の役割
- ・ 障害特性理解に基づく個別の支援計画と運用実態
- ・ 意思決定支援の重要性

※研修内容は今後変更になる場合があります

対象者

横浜市内の障害児施設等(※)の管理者、児童発達支援管理責任者、虐待防止担当職員（直接支援員可）

※放課後等デイサービス/児童発達支援/保育所等訪問支援/居宅訪問型児童発達支援/福祉型・医療型障害児入所施設

定員

共通研修＋管理者向け研修 50名

共通研修＋児童発達支援管理責任者向け研修 50名

※定員を超過した場合は抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

会場

ラジオ日本 クリエイト事務局

9月29日：会議室A+B 10月6日/11月2日：会議室A

横浜市中区長者町5-85 三共横浜ビル3F

JR /関内駅北口 徒歩約5分・市営地下鉄/伊勢佐木長者町駅 3番出口 徒歩1分

京浜急行/日ノ出町駅 徒歩6分

申込方法



二次元コード 又は URL よりお申込みください

申込締切：9/4（金）

※締切日を過ぎてからのお申込は一切受け付けできません

URL <https://forms.cloud.microsoft/r/VNkfY0PHEw>

申込等の問合せ

株式会社ツクイスタッフ 教育事業部

お問合せ先 ☎ so-info@tsukui-staff.net ☎ 03-4563-0893（自動音声案内）

主催

横浜市 こども青少年局 障害児福祉保健課

裏面あり

時間

研修テーマ・内容

講師

共通研修

9月29日（火）

ラジオ日本クリエイト 会議室A+B

9:45 11:45	障害者虐待防止法の理解 「障害者虐待防止法」を通じて虐待とはどのような行為を理解し、その対応を学習するとともに、障害児施設等で虐待が発生した場合の児童福祉法にも触れます。さらに、実際の虐待事例や判例から虐待発生の構造を読み解き、講義とグループワークを通じて理解を深めます。	徳田 暁 様 法律事務所インテグリティ 弁護士
12:45 14:15	虐待防止のための取り組みを学ぶ 性的虐待を防ぐために必要な視点と、子どもの尊厳を守る支援について学びます。安心できる事業所づくりと、子どもの「自分を守る力」を育てる具体的な実践を紹介します。	中野 絢子 様 縁パワー人材開発研究センター 代表理事
14:25 16:25	虐待の予防、早期発見と発生時の対応 虐待の芽となりうる職員の気になる行動を察知し、援助者がなぜ虐待に走るのかを考察することで未然防止のために今すぐできることを考えます。また、早期対応と通報の重要性を学び、虐待が発生した場合の初動対応と通報の役割について理解を深めます。	市川 和彦 様 湘南福祉臨床研究所 所長

管理者向け研修

10月6日（火）

ラジオ日本クリエイト 会議室A

9:40 11:10	管理者としての役割 性の虐待事件（事例）を通じ、管理者の皆様と一緒に考えたいと思います。支援者の所謂「不適切な対応」から虐待に至るまでの経過、対応について確認したいと思っています。	上條 健太郎 様 社会福祉法人恵和 法人本部
11:20 12:50	職場風土の改善① 支援者が「基本的なことを知る、知っている」支援者間の「コミュニケーションが良好である」組織内の「チームワークとは/チームワークが良くなる」「職場の風土が及ぼす影響」について皆さんと考える時間にしたいと思っています。	
13:50 16:25	職場風土の改善② 虐待を生まない組織づくりのために、管理者が果たす役割とは？ 職場風土改善の視点から実践できるマネジメント手法を学びます。	篠田 貴行 様 株式会社縁グループ

児童発達支援管理責任者向け研修

11月2日（月）

ラジオ日本クリエイト 会議室A

9:40 11:10	児童発達支援管理責任者の役割 不適切な対応を予防するために最も重要なことは、「支援者の人材育成」子どもの姿や支援の方針を見発管の皆さまはどのようにスタッフと共有していますか？他事業所の見発管の方々と人材育成について共有しましょう。	神田 由美 様 よこはま港南地域療育センター 地域支援課長
12:10 13:40	障害特性理解に基づく個別の支援計画と運用実態 市内2,000人の職員が、こどもたちの権利と育ちを守る。 ～だれのための放課後等デイ？見発管のわたしたちができること～	勝俣 恵子 様 合同会社りん りん 相談支援事業所
13:50 16:20	意思決定支援の重要性 令和6年7月に国から最新の「ガイドライン」が発出され、障害のあるこどもが自由に意見を表明する権利の尊重が強く求められています。本講座では、同年8月の「障害児支援に求められるこどもの意思の尊重・最善の利益の優先考慮の手引き」を中心に、現場におけるこどもの意思決定支援のあり方について考えます。	鈴木 敏彦 様 淑徳大学 副学長・教授